



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2018.2.16

No. 41 - 31

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

HUP 委員会

〒144-0043

東京都大田区羽田 5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

ALPA Japan/大原記念労働科学研究所

疲労に関するアンケート 2017

引き続きアンケートへの回答のお願い

日乗連ニュース 41-12 でお知らせしている通り、表題のアンケートを実施中です。

1 月末日の時点で「**378 通**」の回答を頂いております。お礼申し上げます。

アンケート回収後の分析、論文の信頼性を考慮すると、1,000 通以上の回答が必要なのですが、数が届いていない状況です。

未回答の方々に是非、回答を頂いて、目標の回答数に近づけたいと考えております。

再度になりますが、今回は「**短距離路線を主に乗務**」されている方の回答を必要としています。よろしくお願いいたします。

回答記入ページは下記の通りです。

<https://jp.surveymonkey.com/r/hirou2017>



また、アンケート実施にあたり、下記のようなご意見も頂いております。

Q：「質問内容が主観的なもので、これを研究しても科学的データとして役立つのか疑問だ。」

Ans：主観的なデータも一定数（n）集めて統計的に処理すると、客観的になります。世界の疫学研究はすべてこの方法で行われています。大切な事は、主観か客観でなく、手続きが重要ということになります。FRMS FORUM でも、主観的データの分析結果が多数発表されています。

Q：「疲労研究なら、機器を使って科学的なデータを取った方が良いのではないか？」

Ans：血圧、脳波、体動計など客観的な計測データによる分析も重要です。組合として一定数のデータを収集する方法を模索中です。専門家、計測デバイス、アプリなど分析、計測分析体制を整えるが必要です。各組合の協力と設備投資が必要になります。

日乗連 HUPER 委員会

